

平成26年度 予算の考え方



平成26年度の予算は、待機児童解消に向けた子ども政策分野の充実、沖縄振興特別推進交付金を活用し、積極的に事業を推進していくほか、国民健康保険事業特別会計の累積赤字の解消等に努めていきます。

平成26年度は、中核市1年目の経験を活かし、風格ある県都としてのさらなる発展と市民サービスの向上、そして子育て支援の充実による子どもの笑顔が輝くまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。

ゆたさるぐとぅ うにげーさびら。

市政運営の基本姿勢

ハイサイ・ハイトイ運動

なーひんちかていいかな

さらに使おう ウチナーグチ！

冒頭でも使いましたが、ウチナーグチ、しまくとぅばの普及啓発という点で、本市は県を先導する取り組みを進めてまいりました。

昨今、グローバル化により、世界の均質化が進む中で、個性あふれる文化を守り育てることが大切であると考えております。我が沖縄が輝き、発展していくためにも、那覇市は、個性あふれる文化の振興を積極的に推進していかなければならないと思っております。

平成26年度は、市民が多く訪れる市民課の名称を「ハイサイ市民課」に改め、ハイサイ・ハイトイ運動推進の一環といたします。



市政運営の基本姿勢

基礎知識編

収入編

支出編

予算の考え方

主要事業

資料編

子ども達の健やかな成長のために

くわ んまがぬ たみにないるぐとう

子や孫の 為 に

本県は、復帰前の米軍施政権下での公立、認可保育所の整備の遅れという歴史的経緯と低い県民所得故（ゆえ）の共働き比率の高さもあって、潜在的待機児童が、多い状況が続いているものと推測されます。

このため、本市では、平成25年度から26年度までの間に、既存保育所の分園や園舎建て替え等により、約500人の定員増に取り組んでいくほか、平成27年度から施行される「子ども・子育て支援新制度」に対応して、新たな「那覇市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたします。

これらの取り組みによって、平成30年度当初には、本市の待機児童0（ゼロ）を目指したいと考えております。

長寿県復活をめざして

いちまでいんちゃーがんじゅう ちょーみ すいるぐとう

いつまでも健康 ご長寿で

昨年2月に厚生労働省が発表した都道府県別平均寿命で、沖縄は長寿県の地位から陥落し、大きな衝撃が走りました。

市民県民の健康を守るためにも、食事や運動といった生活習慣改善への支援などで、大人から子どもまで、生涯にわたる健康づくりに取り組むことが重要と考えております。

本市としても今後、県の21世紀ビジョン基本計画と連動させながら、特に力を入れていきたいと考えております。

市民対話と市民協働

あしがちいしーねー おめやんじゅん

焦 れ ば 物 壊 す

これまで、市民との直接対話を大事にすることで、信頼関係を築くことが重要との思いから、市民との協働によるまちづくりを、市政運営の基本方針に掲げて取り組んできました。

今後とも、地域のまちづくりについては、私自ら市民との対話の機会を設けて、しっかりとご説明申し上げて、信頼関係をもって、進めていきたいと考えております。

中核市那覇の飛躍と職引力

なーふあや ちゅうかくし なとーいびーん

那覇は、中核市です。

中核市移行に向けて、スピードアップ、パワーアップ、そしてレベルアップという標語を掲げ、市の行政運営、市民サービスの向上に取り組んでまいりました。

保健所の設置、中核市移行による業務の引継ぎも順調に進み、これからは中核市として自負心を持って、事業を進めなければならないものと考えております。

そのためにも、本市職員には、政策立案力をはじめとする実行力のさらなるレベルアップを期待しております。

